



青カガシ

鳥山北小学校の教育目標

- ◎すすんで学びよく考える子ども
 - 豊かな心をもち仲良く助け合う子ども
 - すすんで健康な体をつくる子ども
- 重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」 「らしさを大事にする子」 「きりつ正しい子」 「たくましい子」

令和7年9月30日（火）
創立73周年 No. 6

鳥山学舎 世田谷区立鳥山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北鳥山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



体育とスポーツ

副校長 佐々木 恒

10月の第二月曜日は「スポーツの日」です。1964年の東京オリンピック開会式を記念して制定されたこの日は、もともと「体育の日」と呼ばれていましたが、今では「スポーツを楽しみ、健康な心身を育む日」として親しまれています。

「体育とスポーツの違いは、どこにあるのでしょうか。」「なぜ、体育の授業に跳び箱運動があるのでしょうか。」「大人になると跳び箱運動をする機会がないのに…」という素朴な疑問がきっと児童にもあると思います。体育の授業で器械運動（跳び箱運動）のアスリートを育てているわけではありません。跳び箱運動（遊び）の学習を通して、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱を育成していくことが求められています。この三つの柱が体育科の目標である、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を指しています。つまり、技の完成度を高めることだけであったり、高さに挑戦することだけを目指すのではなく、「知識及び技能」の習得とともに、「思考力、判断力、表現力等」を育成し、「学びに向かう力、人間性等」を涵養することを重要として捉え、体育の指導を行っています。「体育」は、学校で行う心と体を育てるための学習です。児童に運動の楽しさを十分味わわせることを大切にして小学校体育では、1年生は年間102時間、2年生から4年生は年間105時間、5・6年生は年間90時間の授業を意図的、計画的に実施しています。また、スポーツと聞くと、「走るのが速い」「ボールを遠くに飛ばせる」など、結果や記録を思い浮かべる人も多いかもしれません。しかし、スポーツの本当の魅力は、体を動かす喜びや、仲間と協力する楽しさ、目標に向かって挑戦する勇気を感じられることにあります。子どもたちが校庭で夢中になって走り回る姿、体育の授業で新しい技に挑戦する表情、運動会で仲間を応援する声——どれもが「心と体が動いている瞬間」です。結果よりも、「やってみたい」「続けてみたい」という気持ちを大切に育てていきたいと思います。スポーツや運動をするとき、一番大切なのは「勝ったか、負けたか」ではありません。大事なのは、「やってみよう」「あきらめずにもう一回」と思える気持ちです。できなかつたことができるようになるとき、目標に向かって努力をしたときに私たちは大きく成長します。校庭で思い切り走るときも、体育の授業で新しいことに挑戦するときも、緊張やドキドキを感じることがあります。でも、その一歩をふみ出したときに、体だけでなく心も強くなります。スポーツの日には、「こんどはこれに挑戦してみよう」と、自分なりのチャレンジを見つけてみましょう。どんな挑戦も、自分の力になります。